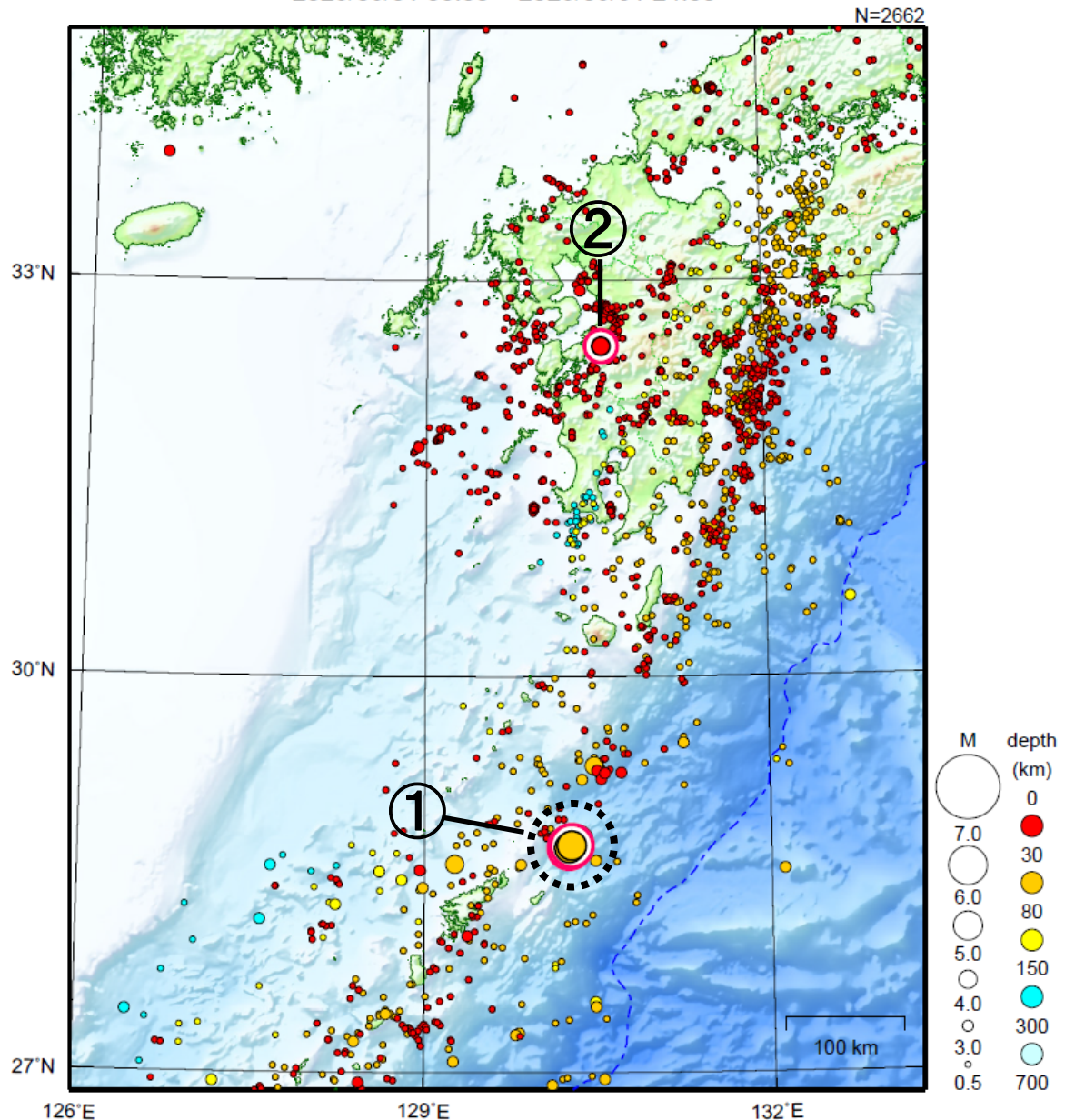


九州地方

2025/03/01 00:00 ~ 2025/03/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3月9日03時54分に奄美大島北東沖で M5.8 の地震（最大震度4）が、同日08時42分には M5.9 の地震（最大震度3）が発生した。奄美大島北東沖では、3月中に震度1以上を観測した地震が12回（震度4：1回、震度3：1回、震度2：4回、震度1：6回）発生した。

3月9日03時54分の M5.8 の地震の情報発表に用いた震央地名は〔奄美大島近海〕である。

- ② 3月18日に熊本県熊本地方で M4.8 の地震（最大震度4）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔熊本県天草・芦北地方〕である。

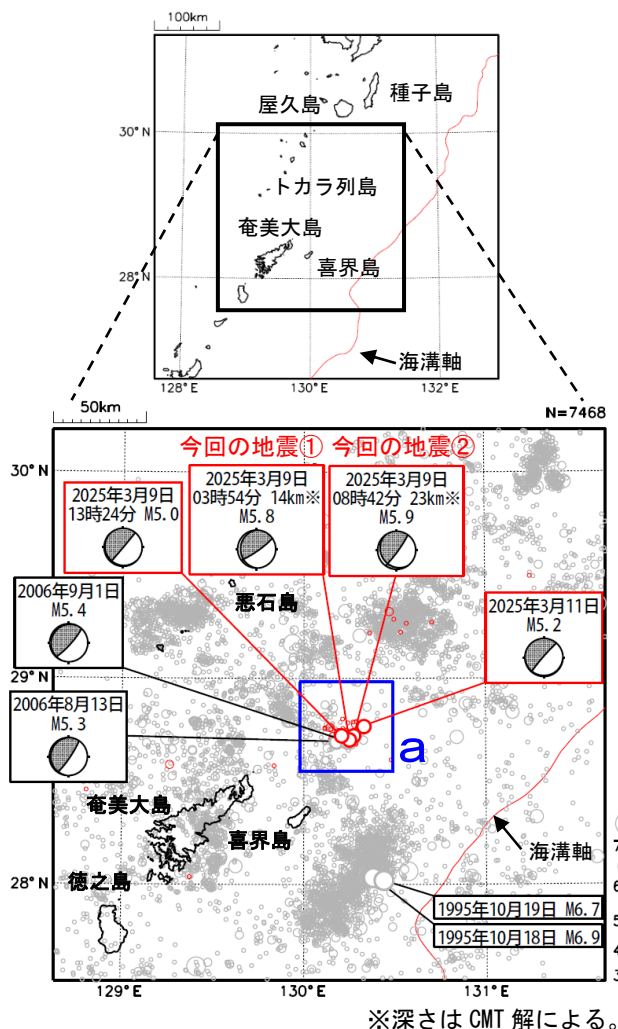
〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

気象庁・文部科学省

3月9日 奄美大島北東沖の地震

3月9日03時54分のM5.8の地震の情報発表に用いた震央地名は「奄美大島近海」である。

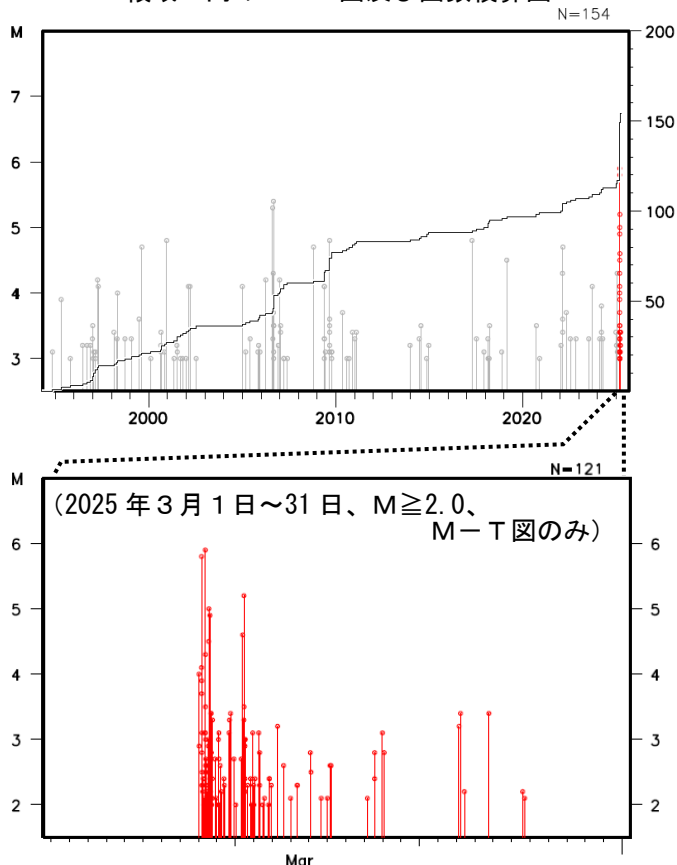
震央分布図
(1994年10月1日～2025年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2025年3月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



2025年3月9日03時54分に奄美大島北東沖の深さ14km (CMT解による) でM5.8の地震 (最大震度4、今回の地震①) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。また、今回の地震①の発生から約5時間後の同日08時42分に深さ23km (CMT解による) でM5.9の地震 (最大震度3、今回の地震②) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震の震央付近 (領域a) では9日から11日にかけて地震活動がやや活発になり、31日までに震度1以上を観測した地震が12回 (震度4：1回、震度3：1回、震度2：4回、震度1：6回) 発生した。時間の経過とともに地震回数は減少している。

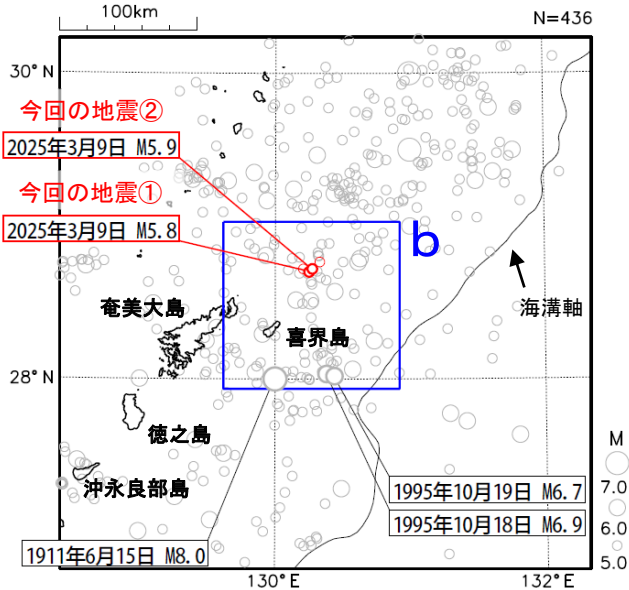
1994年10月以降の活動をみると、領域aでは2006年8月13日にM5.3の地震が、2006年9月1日にM5.4の地震が発生している。また、今回の地震の南南東約80kmでは、1995年10月18日にM6.9の地震 (最大震度5)、翌19日にM6.7の地震 (最大震度5) が発生し、喜界島で負傷者1人、住家一部破損4棟などの被害が生じた。これらの地震により、鹿児島県の中之島で43cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測するなど、関東地方から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



気象庁作成

震央分布図
(1885年1月1日～2025年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2025年3月の地震を赤色○で表示

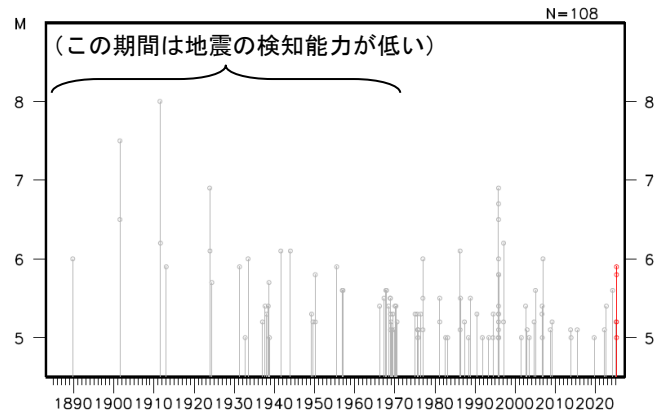


(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津 (2001)、
宇津 (1982, 1985) による※)

※宇津徳治 (1982) : 日本付近の $M 6.0$ 以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463.
宇津徳治 (1985) : 日本付近の $M 6.0$ 以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.
茅野一郎・宇津徳治 (2001) : 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 657pp.

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1911年6月15日には $M 8.0$ の地震が発生し、死者7人、負傷者26人、住家全壊418棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



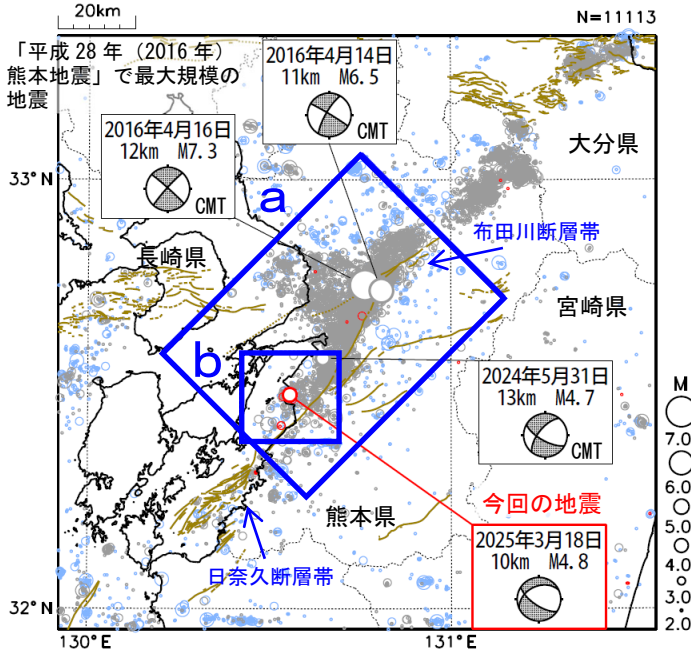
3月18日 熊本県熊本地方の地震

情報発表に用いた震央地名は「熊本県天草・芦北地方」である。

震央分布図

(2000年10月1日～2025年3月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

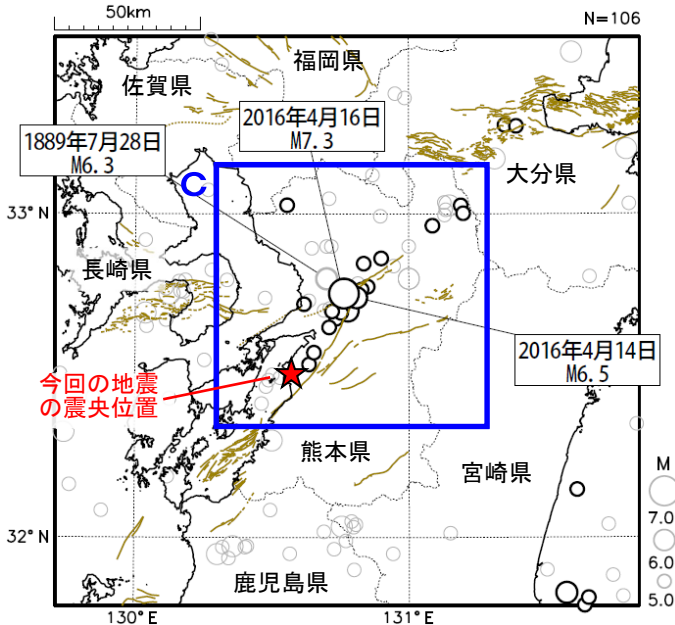
2016年4月14日21時より前に発生した地震を青色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を灰色○、
2025年3月に発生した地震を赤色○で表示



震央分布図

(1885年1月1日～2025年3月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を黒色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

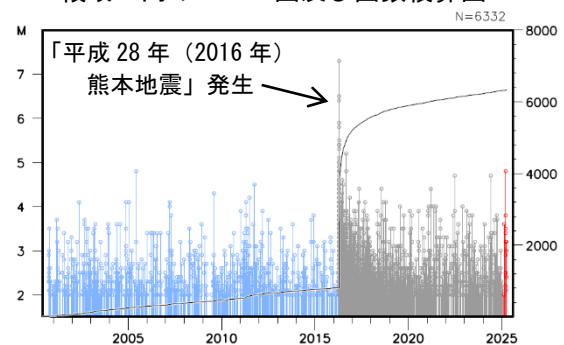
(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)

2025年3月18日05時00分に熊本県熊本地方の深さ10kmでM4.8の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型である。

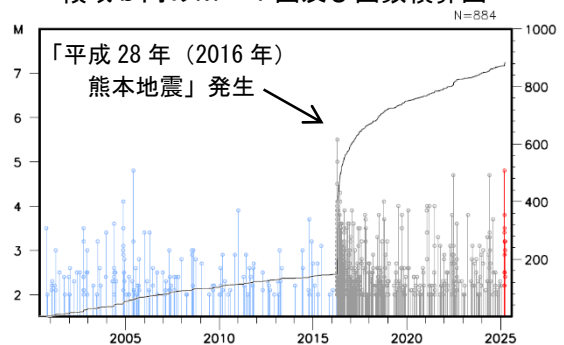
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。この地震により、熊本県で死者273人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県は2024年12月13日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。また、最近の領域b内の活動では、2024年5月31日にM4.7の地震（深さ13km、最大震度4）が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、1889年7月28日にはM6.3の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

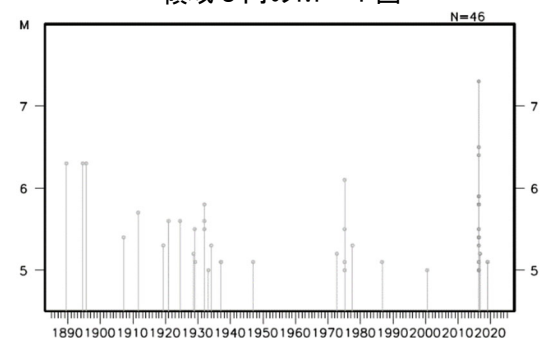
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



※宇津徳治 (1982)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401-463。

宇津徳治 (1985)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642。

茅野一郎・宇津徳治 (2001)：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

気象庁作成